

島根県医療安全推進研修会 これまでの歩み

令和3年8月19日

島根県健康福祉部医療政策課
公益社団法人島根県看護協会

島根県医療安全推進研修会とは

☆島根県では、島根県看護協会と共催で、島根県医療安全支援センター事業の一環として、医療機関の医療安全の推進と、県民への医療安全に関する情報提供を行うことを目的として、医療安全推進週間(例年11月下旬)に合わせて、平成19年度から医療安全推進研修会を開催してきました。

☆医療安全が社会全体の問題として位置づけられ、多方面から様々な対策が取られていることを踏まえて、島根県医療安全推進研修会ではその時代に即した研修テーマを取り上げてきました。

過去の医療安全推進研修会テーマ一覧

年度	テーマ（演題）	講師
平成19年度	医療事故の法律問題と事故への対応	京都大学大学院医学系研究科 医療安全管理学講座 准教授 前田正一
平成20年度	医療機関における医療安全管理	慶応義塾大学看護医療学部教授 嶋森好子
平成21年度	医療機関における医療安全管理	横浜市立大学附属病院 教授（医療安全管理学）橋本迪生
平成22年度	医療におけるヒューマンエラー対策	自治医科大学医学部 教授（医療安全学） 河野龍太郎
平成23年度	地域と医療者が連携して取り組む医療安全	横浜市立大学附属病院 教授（医療安全管理学） 橋本迪生
平成24年度	医療メディエーション対話による関係調整	早稲田大学大学院法務研究科 教授 和田仁孝
平成25年度	医療におけるコミュニケーション ～患者と医療者の協働によって安全な医療を実現するために～	NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 山口育子
平成26年度	あなたが主役の地域包括ケア ～安心・安全をみんなのチカラで～	地域看護専門看護師（広島市議会議員） 馬庭恭子
平成27年度	医療事故調査制度の開始にあたって	日本医療機能評価機構執行理事 前横浜市立大学附属病院医療安全管理学 教授 橋本迪生
平成28年度	みんなで考える医療リスクマネジメント ～トラブル事例を題材に～	広島大学保健管理センター 准教授 日山亨
平成29年度	医療事故調査制度の現状と課題について	日本医療安全調査機構 常務理事 木村壮介
平成30年度	みんなで取り組む医療安全 ～身体抑制が本当に医療安全につながっているのか～	金沢大学附属病院 診療従事者 前 副病院長 看護部長 小藤 幹恵
令和元年度	みんなで取り組む医療安全 ～患者と医療者の協働～	NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口 育子先生

 **次ページ以降に
研修会の概要掲載**

※なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため開催しておりません。

令和元年度 患者と医療者の協働 ～患者と医療従事者が共に考える「コミュニケーションに」ついて～

日時: 令和元年12月14日(土)10:00～12:00

講師: NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口 育子氏

参加者: 49名

【講演のポイント等】

- ・患者と医療者とが共に医療の在り方を考え、医療を理解して参加し協働できるコミュニケーション
- ・医療者側と患者側双方に求められるコミュニケーション能力アップ
患者側の努力: 思いの言語化、質問と確認、情報を引き出す工夫
医療者側: 患者が知りたい情報の提供、医療者が伝えたい情報の提供、情報量や表現の工夫
- ・医療者に望むコミュニケーションの基本 (「笑顔」「まなざし」「言葉」)

※講師の所属・役職等は当時のものです

平成30年度

☆みんなで取り組む医療安全☆

～身体抑制が本当に医療安全につながっているのか～

日時：平成30年12月2日（日）10:00～12:00

講師：金沢大学医学部附属病院 診療従事者 前副院長・看護部長 小藤 幹恵氏

参加者：148名

【講演のポイント等】

- ・医療現場における「身体抑制」の現状と、身体抑制廃止に向けた病院の取り組みをもとに、
医療安全の観点から身体抑制廃止の意味を考える
- ・倫理カンファレンスの導入と学習・研修・実践共有
- ・ユマニチュード（見る・話す・触れる・立つ）＝ケアを必要とする人の人間らしさを尊重

※講師の所属・役職等は当時のものです

平成29年度 ☆医療事故調査制度の現状と課題について☆

日時：平成29年12月3日（日）13:00～15:30

講師：日本医療安全調査機構 常務理事 木村 壯介氏

参加者：59名

【講演のポイント等】

・「医療事故調査制度」の要点から、「医療事故」の判断と「院内調査」の具体的対応について

・「医療事故」

・・・医療に起因する（又は起因が疑われる）死亡であり、管理者が予期しなかったケース

・医療事故調査・支援センターの役割

医療事故判断に関する相談、院内調査等に関する相談・助言、進め方・報告に関する支援

※講師の所属・役職等は当時のものです

平成28年度 ☆みんなで考える医療リスクマネジメント☆ ～トラブル事例を題材に～

日時：平成28年10月8日（土）13:00～16:30

講師：広島大学保健管理センター 医師 准教授 日山 亨氏

参加者：82名

【講演のポイント等】

- ・訴訟事例をケーススタディに、実際の訴訟事例から医療のリスクマネジメントの検討
- ・ヒューマンエラー（うっかりミス）が関連した事例の解析とヒューマンエラー防止への取り組み
「にくい」をなくす・・・わかりにくい、探しにくい、読みにくい等
間違いを指摘してもらった際は・・・微笑み返し、スマイル

※講師の所属・役職等は当時のものです

アンケート結果

- ・コミュニケーションについて考え直す機会になった。
- ・業務の効率化が上位となり、看護の質を高めることが後回しになっていないか考える機会となった。
- ・患者の安心ではなく医療側の安心を求めているのではないかと考えさせられた。
- ・相談対応の演習が出来るプログラムを期待する声や、医療安全を推進するために、医療に携わる全ての職種との連携協働の仕組みを作る必要性を訴えるなど、積極的な意見も寄せられた。
- ・今後も、医療機関・住民・行政一体で、しまねの医療安全文化の醸成にむけた取り組みが望まれる。